

平成31年度 新潟大学脳研究所共同利用・共同研究採択者一覧

課題番号	共同研究種別	新規継続	研究課題名	研究代表者			所内対応教員	
				所属	職名	氏名	分野名	氏名
201901	プロジェクト型	新規	マルチモーダルな脳画像と脳機能データを用いたマルチモーダル機械学習	東京医科歯科大学	助教	服部 高明	脳機能解析学分野	松澤 等
201902	プロジェクト型	新規	認知症の解明と精密医療実現を目的としたゲノム-オミクス解析	国立長寿医療研究センター	部長	尾崎 浩一	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
201903	プロジェクト型	新規	Experimental autoimmune encephalomyelitisマウスの作成およびそれを用いた治療法開発	藤田医科大学医学部	教授	鈴木 元	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
201904	プロジェクト型	新規	遺伝性脳小血管病モデル動物を用いた脳卒中・認知症の新規治療法の開発	国立循環器病研究センター	部長	猪原 匡史	神経内科学分野	小野寺 理
201905	プロジェクト型	新規	GABA仮説に基づいた統合失調症モデルラットの病態解析	群馬大学大学院医学系研究科	教授	柳川 右千夫	分子神経生物学分野	那波 宏之
201906	プロジェクト型	新規	高磁場MRIを用いた発達障害に伴う統合的脳機能に関する研究	国立成育医療研究センター	副院長・統括部長	小枝 達也	臨床機能脳神経学分野	鈴木 雄治
201907	プロジェクト型	新規	タウオパチー病理組織標本を用いたタウPET画像病理相関解析	放射線医学総合研究所	次長	樋口 真人	病理学分野	柿田 明美
201908	プロジェクト型	新規	ストレス応答におけるドーパミン受容体の役割の解明	北里大学医学部	准教授	板倉 誠	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
201909	プロジェクト型	新規	シヌクレインオパチーにおける異常蓄積タンパク質の排出亢進と治療法の開発	弘前大学大学院医学研究科	助教	丹治 邦和	病理学分野	柿田 明美
201910	プロジェクト型	新規	血漿中ILEI定量による高齢者認知機能障害の初期サロゲイトマーカーとしての検証	滋賀医科大学神経難病研究センター	教授	西村 正樹	遺伝子機能解析学分野	池内 健
201911	プロジェクト型	新規	アルツハイマー病に関連するゲノム情報を駆使した多遺伝子解析	大阪大学大学院医学系研究科	特任講師	菊地 正隆	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
201912	プロジェクト型	新規	臨床応用に資する[11C]TGN-020の迅速かつ高収量な製造合成法の開発	福島県立医科大学新医療系学部設置準備室	教授	久保 均	生体磁気共鳴学分野	五十嵐 博中
201913	プロジェクト型	新規	神経変性疾患特異蛋白と神経細胞脱落：ヒト基底核における定量的検討	信州大学医学部	特任教授	小柳 清光	病理学分野	柿田 明美
201914	プロジェクト型	新規	脳由来の血中糖タンパク質の網羅的な同定方法の確立	関西医科大学	准教授	赤間 智也	モデル動物開発研究分野	阿部 学
201915	プロジェクト型	新規	疾患モデル動物の作製に関する最先端技術の開発	熊本大学生命資源研究・支援センター	講師	竹尾 透	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
201916	プロジェクト型	新規	睡眠覚醒と記憶制御に関わる視床下部神経の動作原理解明	名古屋大学環境医学研究所	教授	山中 章弘	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
201917	プロジェクト型	新規	精神疾患死後脳の分子プロファイル解析	福島県立医科大学会津医療センター	准教授	國井 泰人	病理学分野	柿田 明美
201918	プロジェクト型	新規	遺伝子改変マウスを用いた大脳基底核疾患の病態生理の解析	自然科学研究機構生理学研究所	助教	知見 聡美	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
201919	プロジェクト型	新規	歯状回顆粒細胞の興奮性に対するdiacylglycerol lipase alphaの役割の解明	東京大学大学院医学系研究科	助教	菅谷 佑樹	モデル動物開発研究分野	阿部 学
201920	プロジェクト型	新規	タウ凝集体の伝播におけるミクログリアの役割	鹿児島大学医学部総合研究科	助教	松本 信英	病理学分野	柿田 明美
201921	プロジェクト型	新規	遺伝子改変技術による生体リズム中枢の分子機構の解析	京都大学大学院薬学研究科	特任教授	岡村 均	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
201922	プロジェクト型	新規	腸内細菌叢および腸管上皮細胞からのDAMPs制御による脳虚血病果進展への影響	日本医科大学大学院	准教授	西山 康裕	生体磁気共鳴学分野	五十嵐 博中
201923	プロジェクト型	新規	孤発性ALS患者で見出された新規microRNAの機能解析	岐阜薬科大学	教授	保住 功	病理学分野	柿田 明美
201924	プロジェクト型	新規	内因性の意図に基づく行動の神経基盤の解明	京都大学霊長類研究所	教授	中村 克樹	生体磁気共鳴学分野	五十嵐 博中
201925	プロジェクト型	新規	精神神経疾患を対象としたヒト脳組織でのグリア細胞異常と炎症	九州大学大学院医学研究院	講師	加藤 隆弘	病理学分野	他田 真理
2901	プロジェクト型	継続	MRI陰性てんかん症例での多角的術前検査によるてんかん焦点の可視化	西新潟中央病院	部長	福多 真史	脳神経外科学分野	藤井 幸彦
2903	プロジェクト型	継続	熱ショック応答による筋萎縮性側索硬化症（ALS）細胞質凝集体の形成抑制	杏林大学保健学部	教授	渡部 和彦	病理学分野	柿田 明美
2908	プロジェクト型	継続	げっ歯類統合失調症モデル作製と行動解析	東海大学医学部	准教授	加藤 明	分子神経生物学分野	那波 宏之
2910	プロジェクト型	継続	新規疼痛関連分子の脳および脊髄後角での神経可塑性における機能の解析	関西医科大学医学部	准教授	片野 泰代	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
2912	プロジェクト型	継続	マウス遺伝学を用いた体性感覚系神経回路発達の解析	国立遺伝学研究所	教授	岩里 琢治	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
2914	プロジェクト型	継続	Cacnalg変異ノックインマウス解析を通じた脊髄小脳変性症病態の解明	横浜市立大学医学部	准教授	土井 宏	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
2915	プロジェクト型	継続	視床特殊核におけるグルタミン酸受容体GluD1による入力選択的回路形成機構	北海道大学大学院医学研究院	教授	渡辺 雅彦	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
2916	プロジェクト型	継続	認知症病態における海馬由来コリン作動性神経刺激ペプチド（Hippocampal cholinergic neurostimulating peptide:HCNP）発現メカニズムの解析	名古屋市立大学大学院医学研究科	教授	松川 則之	遺伝子機能解析学分野	池内 健
2917	プロジェクト型	継続	神経変性疾患におけるNAK α 3神経細胞の機能障害と細胞死機構の解明	神戸医療産業都市推進機構	部長	星 美奈子	病理学分野	柿田 明美
3003	プロジェクト型	継続	高磁場MRIを用いたてんかん原性部位及び機能部位との関係の研究	静岡てんかん・神経医療センター	医長	白井 直敬	臨床機能脳神経学分野	鈴木 雄治
3004	プロジェクト型	継続	中枢神経原発悪性リンパ腫におけるTACC 3発現とその臨床病理学的意義	久留米大学医学部	教授	杉田 保雄	病理学分野	柿田 明美
3005	プロジェクト型	継続	超偏極低分子化合物の生体トレーサーとしての応用を目指した基礎検討	放射線医学総合研究所	チームリーダー	青木 伊知男	生体磁気共鳴学分野	五十嵐 博中
3006	プロジェクト型	継続	NF-kB活性化を標的とした中枢神経原発悪性リンパ腫治療法の開発に向けた多施設共同研究	横浜市立大学大学院医学研究科	助教	立石 健祐	脳神経外科学分野	藤井 幸彦
3008	プロジェクト型	継続	特発性正常圧水頭症患者脳脊髄液中のバイオマーカー診断と重症度分類の確立	順天堂大学医学部	准教授	中島 円	遺伝子機能解析学分野	池内 健
3010	プロジェクト型	継続	Boron neutron capture therapy (BNCT)が播種・浸潤に及ぼす効果の検討	京都大学複合原子力科学研究所	助教	近藤 夏子	脳神経外科学分野	藁田 学

平成31年度 新潟大学脳研究所共同利用・共同研究採択者一覧

課題 番号	共同研究種別	新規 継続	研究課題名	研究代表者			所内対応教員	
				所属	職名	氏名	分野名	氏名
3011	プロジェクト型	継続	RNA-Seq解析を用いるがん性疼痛と難治性神経障害性疼痛に関連分子の探索・同定	大阪医科大学	客員教授	伊藤 誠二	遺伝子機能解析学分野	池内 健
3015	プロジェクト型	継続	認知症関連疾患リスク遺伝子（特にACE, ABCA7、FUSに関して）検索	名古屋市立大学大学院医学研究科	教授	赤津 裕康	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
3016	プロジェクト型	継続	筋強直性ジストロフィーにおけるタウ病変の評価	放射線医学総合研究所	研究員	高堂 裕平	病理学分野	清水 宏

※所属および職名は申請時のものです。

平成31年度 新潟大学脳研究所共同利用・共同研究採択者一覧

課題番号	共同研究種別	新規継続	研究課題名	研究代表者			所内対応教員	
				所属	職名	氏名	分野名	氏名
201926	連携資源利用型	新規	発達期脳内微細構造の生体イメージングによる神経回路形成機序の解明	熊本大学国際先端医学研究機構	特任准教授	水野 秀信	細胞病態学分野	三國 貴康
201927	連携資源利用型	新規	TDP-43病変に結合する分子プローブの開発	放射線医学総合研究所	研究員	小野 麻衣子	病理学分野	柿田 明美
201928	連携資源利用型	新規	脳疾患ゲノム情報に基づく病態モデルマウスの開発に関する研究	理化学研究所バイオリソース研究センター	室長	吉木 淳	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
201929	連携資源利用型	新規	歩行運動の脳基底核ドーパミン制御機構の解明	大阪大学大学院生命機能研究科	准教授	木津川 尚史	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
201930	連携資源利用型	新規	モノアミン神経伝達物質合成関連遺伝子の組織特異的破壊による生理機能変化の解析	東京工業大学生命理工学院	教授	一瀬 宏	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
201931	連携資源利用型	新規	ミクログリア機能を反映するPETイメージングの開発	国立長寿医療研究センター	室長	木村 泰之	病理学分野	他田 真理
201932	連携資源利用型	新規	脳バンク検体を用いた加齢に伴う脳組織のクローン再構成及び脳腫瘍発生に関する研究	京都大学大学院医学研究科	特定講師	荒川 芳輝	病理学分野	柿田 明美
201933	連携資源利用型	新規	神経組織特異的Scrapperノックアウトマウスの作出と神経変性に関する解析	浜松医科大学	准教授	矢尾 育子	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
2921	連携資源利用型	継続	APPの細胞内ドメインに誘導される神経細胞特異的アポトーシスの解析	北陸大学医療保健学部	教授	中山 耕造	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
3017	連携資源利用型	継続	筋強直性ジストロフィーの中樞神経病態の解明	大阪大学医学系研究科	助教	中森 雅之	病理学分野	清水 宏
3018	連携資源利用型	継続	ジストロフィン結合タンパク質複合体の代謝回転に関する研究	国立精神・神経医療研究センター	室長	今村 道博	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
3020	連携資源利用型	継続	脳・神経回路におけるドーパミンの機能解析	東北大学大学院医学系研究科	准教授	小山内 実	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
3023	連携資源利用型	継続	後部視床下部において過眠症に関連するDNAメチル化部位の探索と各脳領域に特異的なメチル化プロファイルの探索	東京都医学総合研究所	特別研究員	嶋多 美穂子	病理学分野	柿田 明美
3024	連携資源利用型	継続	TDP-43細胞内局在スイッチ制御による筋萎縮性側索硬化症モデルの作成	北里大学医学部	教授	佐藤 俊哉	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
3026	連携資源利用型	継続	てんかん脳波におけるガンマ脳波規則性とてんかん病変部の病理学的変化の関係性の研究	昭和大学医学部	助教	佐藤 洋輔	病理学分野	柿田 明美

※所属および職名は申請時のものです。

List of Global Collaborative Research Project FY2019, Brain Research Institute, Niigata University

As of May 31, 2019

No.	New Renew	Project Title	Principal Investigator			BRI Host Collaborator	
			Affiliation	Position	Name	Dept	Name
G201901	New	Targeting of GD2 as a novel treatment for diffuse intrinsic pontine gliomas	Department of Neurological Surgery, Biochemistry and Molecular Genetics / Feinberg School of Medicine / Northwestern University, USA	Assistant Prof.	Rintaro Hashizume	Neurosurgery	Yukihiko Fujii
G201902	New	Role of autophagy in NF1-associated gliomas	Johns Hopkins University School of Medicine, USA	Associate Prof.	Fausto Rodriguez	Neurosurgery	Yukihiko Fujii
G201903	New	Development, optimization and validation of human AQP-4 PET Radioligand	Departments of Psychiatry and Radiology / Harvard Medical School, USA	Prof.	Marek Kubicki	Biological Magnetic Resonance	Hironaka Igarashi
G201904	New	Examining the role of Aquaporin 4 in recovery from Experimental Cerebral Malaria	University of Manchester, UK	Senior Lecturer	Kevin Couper	Biological Magnetic Resonance	Hironaka Igarashi
G2901	Renew	Preemptive medicine for Alzheimer's disease	Neurology, Univ. of California Davis, USA	Prof.	Ingrid L. Kwee	Biological Magnetic Resonance	Hironaka Igarashi
G2905	Renew	Elucidation of the roles of chromatin remodeler in neuronal homeostasis using mouse models	Dept. Neurobiology, Univ. of Massachusetts Medical School, Brudnick Neuropsychiatry Research Institute, USA	Assistant Prof.	Kensuke Futai	Comparative & Experimental Medicine	Toshikuni Sasaoka
G2906	Renew	Research on pathway-specific regulation of motor and cognitive functions via dopamine D1 and D2 receptors	Department of Medical Information Science, Institute for Genomic Biology, Univ. of Illinois at Urbana-Champaign, USA	Associate Prof.	Yanyan Wang	Comparative & Experimental Medicine	Toshikuni Sasaoka
G3004	Renew	Pathology and neuroimaging study of language impairment in amyotrophic lateral sclerosis	Department of neurology, Xuanwu Hospital of Capital Medical University, China	Fellow	Cui Bo	Pathology	Akiyoshi Kakita
G3005	Renew	Production of congenital nystagmus model mice and analysis of visual function	DANDRITE, Department of Biomedicine, Aarhus University, Denmark	Associate Prof. / Group Leader	Keisuke Yonehara	Comparative & Experimental Medicine	Toshikuni Sasaoka
G3006	Renew	Development of gene-cell therapy of Alzheimer's disease based on delivery of neurotrophic factors to brain: translational study	Kazan State Medical University, Russia	Prof.	Marat Mukhamedyarov	Pathology	Akiyoshi Kakita
G3007	Renew	Assessing molecular mechanisms of novelty-induced memory boost by using genetically-modified rats derived from embryonic stem cell line for Lister-hooded rat	Department of Biomedicine, Aarhus University, Denmark	Associate Prof.	Tomonori Takeuchi	Animal Model Development	Manabu Abe